

『紡ぐ』

2022.7.1 第44号
発行 教育相談室「あした塾」



氷所鹿島の鹿島神社島居の横に平成19年3月25日の能登半島地震で倒壊した島居の残骸が展示されています。解説碑に「震度6強の揺れの妻を末永く後世に伝える為」とあります。

能登半島地震の 震度6弱 避難計画

6月19日(日)午後3時8分頃、珠洲市で震度6弱の揺れを観測する地震がありました。能登地方各地で大きな揺れがあり、15年前の能登半島地震の恐怖の記憶を甦った人も多かったのではないかと思います。

防災科学の専門家・鷺谷威教授(名古屋大学防災連携研究センター)は次のように話しています。「能登半島の群発地震は2020年頃から続いており、現在も衰えていません。これは地震の多い日本列島でもかなり珍しい現象で、今まであまり注目されていなかった場所でもあり、その原因が何なのか、今後どうなるかについて専門家も首をかしげている。群発する中で一回り大きい地震が起きる可能性がある。数ヶ月単位で注意を続けてほしい。家具を固定する、揺る部屋の安全を確保する、といった点が重要。」

能登半島地震の教訓を生かして、各自、備えを充分にして注意した生活を送りませんか。

(名古屋のレスキューストックヤード・浦野愛さんからの情報提供)

さどりの道(12) 6月11日



6月11日(土)内灘・金沢の野山あるき会の皆さん15名が「さどりの道」散策に。小泉正敏さん、一乗寺一三住職が案内役。『宿海発見の旅②の追加マップ』



野鳥観察会 6月12日

能登トキアソクラブ(宮下源一郎会長)共催の野鳥観察会が6月12日、40名の参加で行われました。当日は、ハヤブサ、カワセミ、メジロ、など17種類の野鳥が観察されました。トキ放鳥に向けて声援もあがりました。

今号掲載予定だった6月議会傍聴記と、氷所社会福祉協議会が実施した「こども食堂」については次号(7月15日発行予定)に紹介します。

お知らせです。

穴水再発見

ある方向から見ると
海に浮いているように
見える鹿島神社の杜。

鹿島信仰と 鹿島神社

全国には「鹿島」
「鹿嶋」「かしま」な

どの名前がいく地名が677ほどあるそうです。

特に「鹿島神社」「鹿嶋神社」などの「かしま」
神社は約600社あり、茨城県鹿嶋市にある
「鹿島神宮」が総本社となっています。鹿島神宮
は日本の皇紀と同じく、677年の歴史を持つ古社中
の古社という表説もあり、「神宮」というふうに呼ばれるのは、
格式の高さを表しています。



穴水町鹿島にある神社の奥居
の扁額には「武甕槌神」の文
字が書かれています。



能登地方には鹿島地名が多
いのですが、鹿島神社はここだ
けです。鹿島信仰は一般的には
「武神信仰」です。鹿島神社の
祭神は武甕槌神(タケシカミ
ノミコト)で、日本神話最強の武神、勝利の神様といわれています。現
代でも多くの武道場や鹿島大明神の掛軸が掲げられています。
穴水町鹿島の神社境内はそれほど広くはないのですが、神社
に向かう参道から見える景色は格別です。『目黒石』や『参拜
の仕方』の掲示など、他には見えない佇まいが見えます。

インターネットの書きこみには

「海や木々など自然が豊かで、眺
めが良く、静かで、人生に一回は行
くべきいい神社です。」「木の
すき間から見える海と田んぼ。素
敵な景色だね。」「神様のいる
世界に近い場所なのかなと思っ
た。」「などの書きこみがありました。

「穴水再発見の旅」第4弾案内

「穴水再発見の旅」第4弾は以下の要領で実施
します。今回は定員を決めますので先着順になり
ます。ご了承ください。(定員30名)

期日：令和4年8月23日(火)

内容：穴水町の7つの歴史的めぐり

旧能登線に思いを馳せながら、新しい発
見をする。写真コンテスト予定。

申し込み：令和4年7月20日(水)

移動は
バスです。

参加費
1,000円

申し込み：TEL 0768-56-1151・1152

参加決定者には後日、詳細をお知らせします。

穴水町鹿島の鹿島神社は能登鹿島駅(さくら駅)のすぐ近くにあります。

夏休み中でもあり、子どもたちの参加も
期待します。